

# 光市医師会報

昭和50年6月発行

No. 35



友情は、喜びを二倍にし  
悲しみを半分にする

ミラー

光 市 医 師 会

## 医師会月間行事

※ 5月27日 月例会 於医師会館 午後8.00

◎報告事項 (1)県代議員会互助会支部長会議について (2)乳児検診について (3)予防接種について (4)山口県医学会について (5)患者調査について (6)休日連絡網について (7)光化学スモッグ緊急時対策について (8)社保出張受付について

◎協議事項 三市医師会合同役員会の議題について

5月27日 税務に関する研究会 於医師会館 午後7.00

◎講師 山崎光税務署長、宮本上席国税調査官、小野上席国税調査官、小室統括国税調査官

◎内容 税の正しい理解と税を知る習慣、自主記帳、自主申告による申告納税制度の定着、青色申告の利点、白色申告との比較、固定資産税、相続税、贈与等についての解説があった。

6月10日 理事会 於医師会館 午後7.30

◎協議事項 (1)山口県眼科医会について (2)医師会費規則及び基金規則について (3)労働法の研修について (4)私立園医の所属について

◎報告事項 (1)昭和50年度患者調査施設について (2)会員の表彰について (3)福祉担当理事協議会について (高橋理事)  
(4)諸会の開催 (イ)呼吸器疾患調査担当理事協議会 (ロ)医師協同組合連絡協議会

## 労働法 (1)

労働組合法、労働関係調整法、労働基準法を労働3法と云ふ。これら3法の概略は次の通りである。

### (1) 労働組合法

1921年以降数次にわたり労働組合法制定の動きがあったが不成立に終わり、1945年末初めて制定された。当初は公務員をも包含する広範な団結権を認めていたが、1949年全面改正された(法174号)現行法は、労働組合を自主的、恒久的な労働条件の維持改善その他経済的地位の向上を図る団体と規定し、不当労働行為の禁止、労働委員会による救済、労働協約(有効期間3年)、労働委員会、罰則について定めている。不当労働行為の救済以外は、労働委員会による組合認定がなければ、本法への参加はできないとされている。争議調整のため1946年労働関係調整法が実施され、公益事業に強制調停の途が開かれ、1948年公共の福祉の名の下に公務員の争議権、団体交渉権がはく奪され、1949年公共企業体等労働関係法により公社、現業の争議権が否定され、1952年には労働関係調整法に緊急調整制度が取り入れられるなど、労働組合への国家の介入は漸次強化されてきた。

### (2) 労働基準法

戦前のわが国の労働保護立法であった工場法にかわり、1947年、法49号として制定された労働条件を規制する基本法。工場法の前近代的な内容を改め国際基準(たと



えば8時間制、週休制など)が盛り込まれた。適用は同居親族、家事使用人のみを使用する事業所をのぞき、ほとんどの事業所に適用される。本法はその原則として、労働者が人たるに値する生活を営むための必要を満たす労働条件の確立、労使対等、労働者の均等待遇、男女同一労働同一賃金、強制労働の禁止、中間搾取の排除、公民権行使の保障をあげ、労働契約、賃金、労働時間、休憩、休日および年次有給休暇、安全および衛生、女子および年少者、技能者の養成、災害補償、就業規則、寄宿者、監督機関、罰則につき、それぞれ別章で基準を設定している。しかし労働時間にしても労使協定による延長、4週間4日休日制など例外の承認が多く、監督官の人手不足による実施状況の確認の困難など問題があり、また今日の国際水準からみて、その内容は低位にあるといえる。

### (3) 労働関係調整法

労働組合法と相まって、労働関係の公正な調整をはかり、労働争議を予防または解決して、労使の平和をはかり、もって経済の興隆に資することを目的に1946年、法25号として制定され、労働委員会による争議のあっせん、調停、仲裁、公益事業や大規模な争議行為が国民経済の運行、国民生活に支障ありと判断される場合における総理大臣の緊急調整の決定権(中央労働委員会が解決にあたる)と、その争議行為の中止などを決めている。

## 光市医師会休日連絡網



○在宅医(2名)が協力し林、松村、大野医院(不在の場合は光中央病院)の何れかへ連絡する

○前項が不能の場合は在宅医より直接各医療機関へ連絡する

○日曜、祭日の時、呼出し3回連絡は医師会よりの連絡

## 豆辞典

### 労働衛生

[Occupational Health]

1950年、ILOとWHOの共催による労働衛生委員会において、労働衛生の理念を「あらゆる職業の労働者の肉体的、精神のおよび社会的の健康をできるだけ高い水準にまで増進し、維持すること、労働条件によって起こりうる健康障害を医学的に予防すること、職場にある有害な諸因子から工学的に保護すること、生理的、心理的資質に適する労働条件下で働きうるように配置し、それを維持させること、要約すれば、作業を人間に、また人間を作業に適応させることである」と定義している。わが国の実情は雇用労働者を対象と考える場合が多く、労働基準法、労働安全衛生法規で扱われる労働者の保健衛生問題をその内容としている。

# 緑友会ゴルフ

山口銀行杯 5.18 於柳井C.C.

井原先生（市民病院）緑友会長杯優勝につづき連続優勝

成 績

| 氏 名 | Out | i n | GROSS | HDP | Net | Rank |
|-----|-----|-----|-------|-----|-----|------|
| 亀 田 | 55  | 53  | 108   | 20  | 88  | B B  |
| 河内山 | 51  | 53  | 104   | 23  | 81  | 6    |
| 守 田 | 48  | 47  | 95    | 17  | 78  | 4    |
| 井 原 | 51  | 53  | 104   | 28  | 76  | 優    |
| 福 本 | 68  | 68  | 136   | 30  | 106 | 10   |
| 藤 村 | 44  | 44  | 88    | 12  | 76  | 2    |
| 山 井 | 50  | 49  | 99    | 20  | 79  | 5    |
| 大 野 | 46  | 43  | 89    | 13  | 76  | 3    |
| 高 畠 | 54  | 52  | 106   | 25  | 81  | 7    |
| 高 橋 | 57  | 54  | 111   | 25  | 86  | 8    |

## あ と が き

AF 2が食品に添加されて味が変わり、発癌性を指摘されて使用禁止となり、再び味が変わった。今問題となっているのは学校給食に添加されておるLーリジンである。発癌性のベンツパイレンが析出されて安全性が問題となっておる。学校医としての立場上からも全く無関心と云ふわけにもゆくまい。

亦Lーリジンが医薬品としても使用されておる点よりして、厚生省や文部省の早急な結論をせまられるだろう。科学と文明の進歩の裏にさまざまな問題が生まれ、何とも落つきのない世の中である。

犬と共に早朝の散歩を楽しむ。未だねしづまった静かさの中に雨にぬれたアジサイの花が美しい。心静かな一時。

梅雨晴や前山に雲納まらず

虚 子